

2022年度（2022年9月～2023年8月）事業報告

作成者：八木 朝子

（1）法人組織運営

1. 2022年度、新評議員、新理事、新支部代表体制の元、学会運営が執り行われた。
2. 本部運営に関して、各委員会活動とその統括として総務委員会を執り行った。
3. 北陸支部と東海・甲信越支部の統合が決まり、中部支部として今後活動する。
4. 支部代表会議が初めて開催され、2023年度の例会スケジュールが決定された。

（2）学術集会開催事業

1. 第3回を大会長高津昌吾、副大会長小川清司にて、2022年11月日（土）12月5日（日）オンデマンド配信にて開催した。
2. 第2回に続き、プロコムインターナショナルを配信会社に選定した。委託費を差し引いた上、黒字決算となり収支上の成功を収めた。
3. 参加者数の総計は332名であり、第1回329名、第2回317名に続き、300名以上の参加者となった。
4. 企画は、教育講演3題、ワークショップ3題、シンポジウム3題、講習会報告1題、一般演題23題であり、第1回9題、第2回19題から増加していた。
5. 後援団体20団体、参加企業12社（うち広告11社）であった。
6. 第4回を大会長山本勝徳、副大会長藤田志保にて、「睡眠検査の目的 ～PSGから読み解く様々な疾患～」をテーマとし、11月11日（土）12日（日）の現地開催と、11月25日（土）～12月24日（日）のオンデマンド配信を予定している。

（3）支部例会活動

1. 7支部全てで例会が開催され、全体で計10回のウェブによる例会を配信した。
2. 各支部にて開催方式（オンデマンド、ライブ、ハイブリット配信）と、プログラムを企画し、特徴ある開催を行なったことで、参加者は所属支部以外の例会への参加も認められた。参加者からのアーカイブ配信を望む声が出ている。

（4）日本睡眠学会（JSSR）との協働関係構築

1. 第3回学術集会にて、JSSR 専門技師に対して、JSSR 認定更新5単位付与した。
2. JSSR からの派遣理事2名は、内村直尚理事長と、中山秀章教育委員会委員長であり、JSSR の活動（睡眠議連、睡眠科標榜など）への理解を促した。

（5）その他事業

1. 第2回講習会「睡眠に関わる各種検査の基礎知識」のテーマで、2022年月15日（土）～30日（日）オンデマンド配信で行い、聴講者は185名であった。
2. ニュースレター（第3号）の発行を行い、会員への郵送を行った。
3. 組織調査として、オンライン診療の実態調査を、会員に対し行った。
4. 学術集会抄録集を、会員への配布を初めて行った。
5. 利益相反（COI）に関する指針を策定した。